

インクルーシブ公園への再整備〈筑波北部公園〉

整備方針

トイレ

障害者別、利用シーンにより必要機能が異なることから、トイレを分棟にし、それぞれが必要な施設を導入します。

男 子 トイレ：個室1、小便器2

女 子 トイレ：個室2

バリアフリートイレ：手すり付き便器、鏡、オストメイト、ベビーチェア、ユニバーサルシート、着替え台、荷物置き、非常ボタン、音声案内サイン、電動扉、車いす回転スペース（φ1800）

更衣室：着替え、授乳、おむつ替えなどができる多目的スペース

園路・広場

既存の遠路・広場は最大限保存し、有効活用する一方、遊びなどのアクティビティスポットをつなぎ、一周できるよう、一部遠路を新設します。

また、園路内の高低差の解消には、傾斜の緩いスロープを用い、適切な場所に踊り場を設けます。

勾配：縦断勾配5.0％未満、横断勾配1.5％未満

幅員：最低幅120cm、標準幅員180cm

アクセシビリティ（サイン）

多様な人々が利用することができるよう、最低限の位置案内、誘導設備、心理的ハードルを下げるための説明、あそびの体験誘導などのサイン設置を設置します。

公 園 全 体 マップ：管理棟、駐車場、トイレ、テニスコートなどの配置を示す。

整備エリアの案内マップ：あそびの場の配置、経路、トイレや休憩所などの位置を示す。

カームダウンスペースや車いすの通れるルートも記載予定。

方 向 誘 導 サイン：道の分岐点、入り口などで行き先の方角を示す。

※視覚障害のある方への対応として、触覚による情報保障（点字、触知図）や聴覚による情報保障（音声案内）の導入を検討中。

○あそび方などの説明サイン

あそび方や安全のための注意書きなど



○体験としての触知図

誰もが楽しめる体験として提供される



ベンチ

あそびのそばで見守る場所、歩きながらこまめに落ち着ける場所、みんなでランチできる場所など、各所に休憩施設を点在配置することで、安心して過ごせる公園を目指します。

駐車場

分かりやすい動線の新設、車椅子用リフト付き福祉車両対応の駐車場の新設または優先駐車スペースの新設を検討します。

普通駐車場 現在：73台 → 整備案：73台

身障者用駐車場 現在：2台 → 整備案：4台

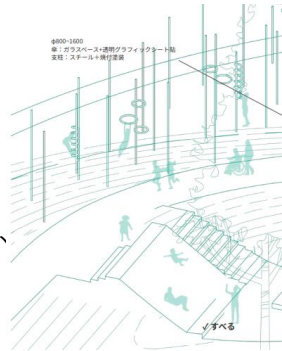
インクルーシブ公園への再整備〈筑波北部公園〉

遊び場のゾーニングと導入施設案

C 遊びの丘

斜面での登り滑りをはじめ、体を使った遊びなど多様でアクティブな遊びができる。

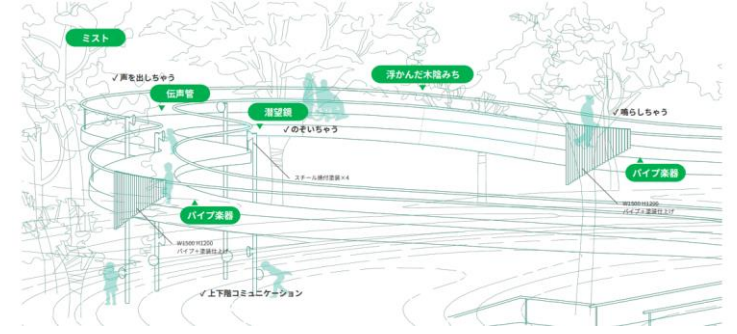
導入施設案：ポップジェット、すべりあそび、ウォーターパレット、支柱あそび、ころころあそび



B 自由な森

自由に創造的な使い方（プレイパーク等）な使い方など自然環境から自由に発送されるプリミティブな遊び方や過ごし方ができる

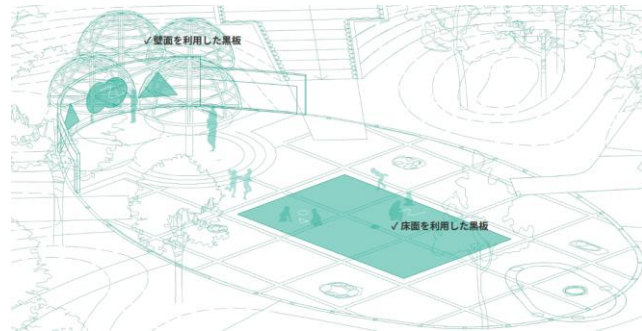
導入施設案：浮かんだ木陰みち、ミスト、プレイパークひろば、伝声管、パイプ楽器、とびはねっとかさふわプール、潜望鏡、ゆらゆら浮き輪、



D お絵描きひろば

のびのびと自己表現ができ、創造性を育むことができる。

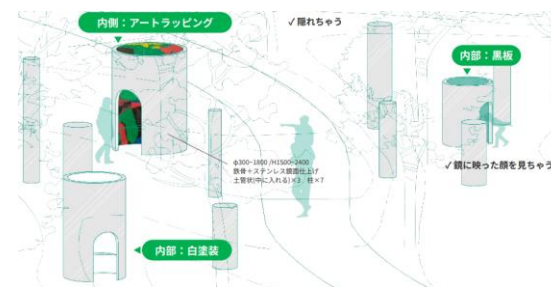
導入施設案：お絵かきひろば



E 感覚の森

既存公園の自然の豊かさを活かしながら体験要素を織り込むことで、互換や認知を刺激する。

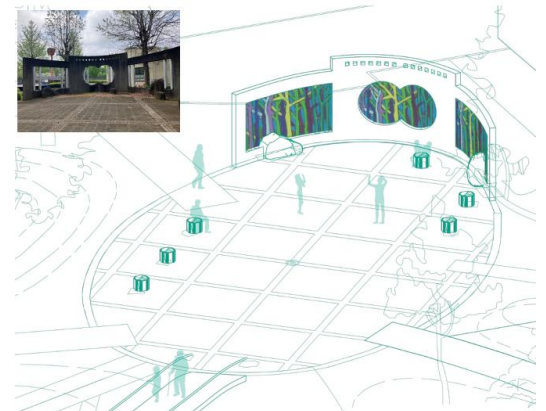
導入施設案：ゆらゆらミラー、ミラーほこら



A お出迎え広場

インクルーシブ公園の玄関。インクルーシブの思想（多様な個性を尊重する考え方）の説明や施設情報が確認できる。

導入施設案：園内マップ、音声案内、点字や触知図など



F インクルーシブ遊具ひろば

既設の遊具を活かし、インクルーシブ遊具に溢れたひろば。

